

四島のかけ橋

第64号
2019年1月1日
(火曜日)

発行所
北方領土返還要求運動
神奈川県民会議
〒231-8588 横浜市中区日本大通1
TEL 045-285-0905
発行人 綾井 祐一

第三十四回県民大会を開催

会場は横浜情報文化センター

二〇一八年十一月十九日(月)、横浜市中区の「横浜情報文化センター」情文ホールにおいて、第三十四回北方領土返還要求運動神奈川県民大会を開催した。

会員をはじめ一七五名が参加した今大会では、主催者の桐生会長の挨拶の後、来賓の首藤健治神奈川県知事及び独立行政法人北方領土問題対策協会の諸星衛

地である根室市に集まり、元島民による講話や北方領土の視察、グループディスカッション等を行い、北方領土問題への理解を深めた様子について、写真を交えて報告があった。

迎春



2019

根室半島や北方四島の周辺に生息し、双方を自由に行き来する海鳥エトピリカ

県民会議では、二月七日「北方領土の日」の前後、横浜市営地下鉄グリーンラインの車両及び相鉄線横浜駅で、北方領土に関する啓発映像を放映する。

横浜市営地下鉄グリーンライン・相鉄線横浜駅で北方領土に関する県民会議のCMを実施!!



横浜市営地下鉄グリーンライン「グリーンビジョン」

「北方領土の日」の前後、横浜市営地下鉄グリーンラインの車両及び相鉄線横浜駅で、北方領土に関する啓発映像を放映する。

このように今後の返還交渉には日口の主張に大きな隔たりがあり、ロシア側は容易に返還に応ずる考えはなく、更なる粘り強い交渉が必要である。私たちも返還に向けて粘り強く声をあげていきたいと思う。

(綾井)



県民大会の様子

二月七日(木)は「北方領土の日」

一八五五年の二月七日(旧暦では安政元年十二月二十一日)、伊豆の下田において日露通好条約が調印された。この条約で日露両国の国境が平和裏に定められ、北方四島が日本の領土として初めて国際的に明確になった。そうした経緯を踏まえて、北方領土問題に対する国民の関心と理解を

灯台

安倍首相は、昨年十一月十四日、ASEAN(東南アジア諸国連合)の開催地シンガポールにおいて、ロシアのプーチン大統領との間の二十三回目となる日露首脳会談を行い、一九五六年の「日ソ共同宣言」を基礎として平和条約交渉を加速させることについて合意したと述べた。

「日ソ共同宣言」とは、終戦間際にソ連が日ソ中立条約を破って占領した南舞(はほまい)群島、色丹(しこたん)島、国後(くなしり)島、択捉(えとろふ)島の四島のうち、平和条約の締結後に南舞、色丹の二島を日本に引き渡すことが明記されているものである。

日本は、四島の返還を長年求めてきたが、安倍首相が十四日の日露首脳会談で日ソ共同宣言を基礎に交渉を進めると発言したこと

で、二島返還を軸にした交渉に舵を切ったとの見方が出てきた。しかし、十六日の記者会見で安倍首相は「交渉の対象は四島の帰属の問題だ」と述べ、従来の政府方針は変わらないと説明した。

一方、プーチン大統領は首脳会談の宣言で「日ソ共同宣言には平和条約の締結のあとに二つの島を引き渡す」と書かれているが、引き渡す根拠やどちらの主権のもとに島が残るかは書かれていない。これは本格的な検討を必要とする」と述べ、宣言に基づいて引き渡すとされている南舞群島と色丹島の主権がどうなるか等引き続き日本側との交渉が必要だという考えを示した。

このように今後の返還交渉には日口の主張に大きな隔たりがあり、ロシア側は容易に返還に

